

▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽
広島県緑化センターメールマガジン VOL. 301 H27. 7. 23
△▽△▽▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲

7月20日に「山口県を除く中国地方は梅雨明けしたとみられる」と広島地方気象台の発表がありました。二十四節気の大暑を迎えましたが、今日は涼しい日になりました。園内ではセミが賑やかになり、夏らしくなってきました。

★ 開花情報

ウマノスズクサ（馬の鈴草）ウマノスズクサ科ウマノスズクサ属（写真1左）

河原、土手などの草地に生えるつる性の多年草で、茎はよく分枝し、長さ1~2mになります。細長い三角形の葉は有毒で、ジャコウアゲハの幼虫の食草になります。この毒成分によって天敵から身を守っているといわれています。6~8月、葉腋から花序をだし、湾曲した萼筒の先がラッパ状に広がる特徴的な花をつけます。花弁はありません。果実は熟すと基部側から吊り下がりますが、めったに見られません。この果実が馬の首に下げる鈴に似ていることからウマノスズクサの名がついています。

場所：レストハウス進入路

ノリウツギ（糊空木）ユキノシタ科アジサイ属（写真1右）

ノリウツギの名は、内皮に粘液が多く、和紙を漉くときの糊料に用いたことが由来となっており、ノリノキとも呼ばれます。北海道から九州の山地に自生する落葉小高木で、時に庭木に利用されることがあります。7~9月、枝先に円錐花序をつけ、白色の装飾花と両性花を咲かせます。材は均質で堅く、楊枝やかんじきの爪などに用いられました。

場所：見本園、樹木探勝園入口、レストハウス下東屋の横

リョウブ（令法）リョウブ科リョウブ属（写真2左）

田畑の面積に応じて割り出した作物の植えつけ量のことを畑積もり（ハタツモリ）といい、万葉集に本種を指す名で詠われています。古くから若葉を重要な救荒食として利用されており、律令制の時代に一定量の植栽及び葉の採取と貯蔵が命じられました。これがリョウブや古名ハタツモリの名前の由来といわれています。樹形は落葉小高木で北海道から九州の丘陵から低山に分布します。花は両性で6~8月に枝の先端に花序をのばし、小さな白い芳香のある花をたくさん咲かせます。

場所：山林内各所

ノウゼンカズラ（凌霄花）ノウゼンカズラ科ノウゼンカズラ属（写真2右）

付着根を出して塀や壁に這い上がる落葉つる性木本で、観賞用によく植えられます。原産は中国大陸で、平安時代に渡来したといわれています。古くは「末加也岐（まかやき）」と呼ばれ、花の美しさを表現した「目赫き（まかがやき）」から転訛したものとされています。7~8月に枝先から垂れ下がった花序に橙色の花を咲かせます。葉は奇数羽状複葉で対生し、小葉には荒く鋭い鋸歯があります。アメリカ原産のアメリカノウゼンカズラもよく植えられており、本種より花の筒部が長く、色が濃い点や、小葉の数が多くて見分けます。

場所：学習展示館外壁

キキョウ（桔梗）キキョウ科キキョウ属（写真3左）

キキョウの名は、漢名の「桔梗」の音読みで、秋の七草の朝貌（あさがお）は本種だといわれています。多年草で根が太く、古くから薬用として利用されてきました。わが国では北海道西南部から沖縄の日当たりのよい山地や野原に分布します。花冠は直径4～5cmで5裂し、紫色を帯びています。品種も豊富で、白花や二重咲等があります。

場所：管理事務所前

オトギリソウ（弟切草）オトギリソウ科オトギリソウ属（写真3右）

日本全土の日当たりの良い野原、丘陵、山林に生える多年草で、高さ30～60cmになります。全草を傷薬として利用します。平安時代に晴頼（せいらい）という鷹匠が、鷹が傷つくと特効薬に本種を用いていました。ある日弟が、この秘薬を他人に漏らしたことに兄の晴頼が激怒し、弟を切り殺したという伝説に因んで名付けられました。葉には黒点が密にあり、これは切られた弟の血痕といわれています。黄色の花は径1.5cm程の一日花で茎の先に集まります。

場所：第2駐車場上段のり面

緑化センターホームページ（<http://ryokka-c.jp/>）に開花状況を掲載していますので、ぜひご覧ください。また園内にも、各月の開花マップがありますので、来園の際にはお立ち寄りください。

開花等の詳細は緑化センター管理事務所（082-899-2811）へお問い合わせください。

★園内開花情報まとめ

開花	ウマノスズクサ、リョウブ、ノリウツギ、クチナシ類、ノウゼンカズラ、ムクゲ、クズ、ツタ、ムラサキカタバミ他
----	--



写真1左 ウマノスズクサ（レストハウス進入路）H27.7.22



写真1右 ノリウツギ（樹木探勝園入口）H27.7.23



写真2左 リョウブ (第2駐車場入口) H27.7.23



写真2右 ノウゼンカズラ (学習展示館外壁) H27.7.22



写真3左 キキョウ (管理事務所前) H27.7.22



写真3右 オトギリソウ (第2駐車场上段) H27.7.23